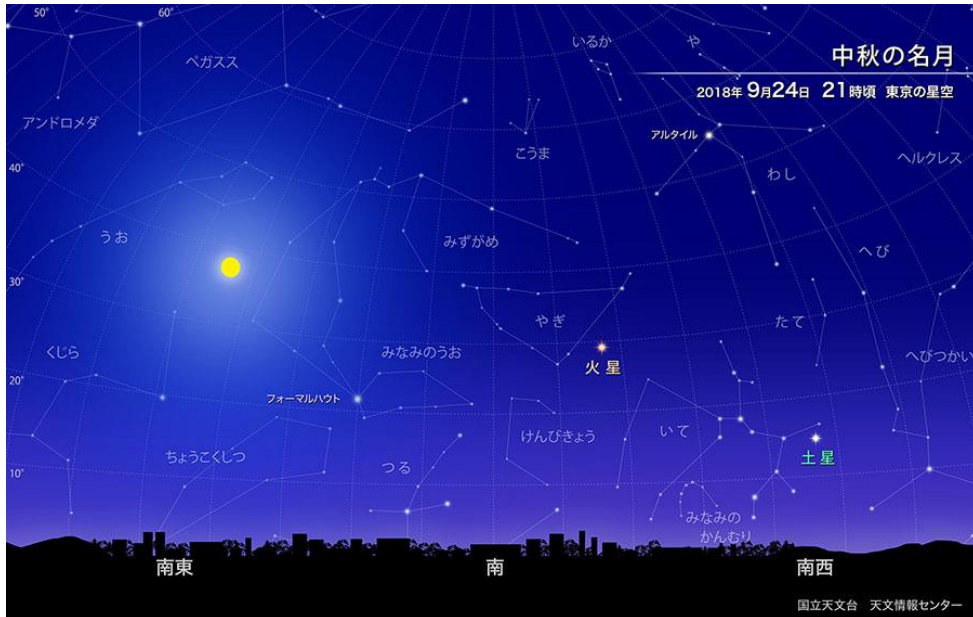


てんたいかんさつかい ミニミニ天体観察会

第3回 十五夜の月を見よう

2018年9月22日(土)



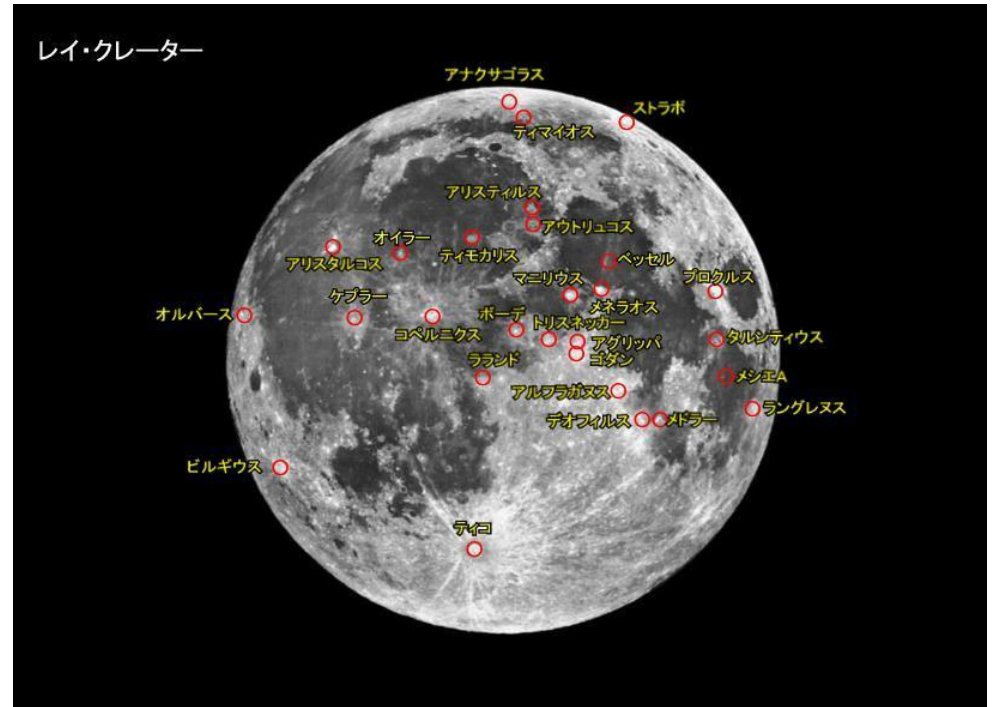
今年の中秋の名月は、9月24日です。

中秋の名月は農業の行事と結びつき、「芋名月」と呼

ばれることもあります。中秋の名月をめぐる習慣は、

平安時代に中国から伝わったと言われています。

レイ・クレーター



レイとは満月近くになると白い筋すじとなって輝き始める

現象げんしょうのことです(光条こうじょう、白条はくじょう、輝条きじょうともいう)。天

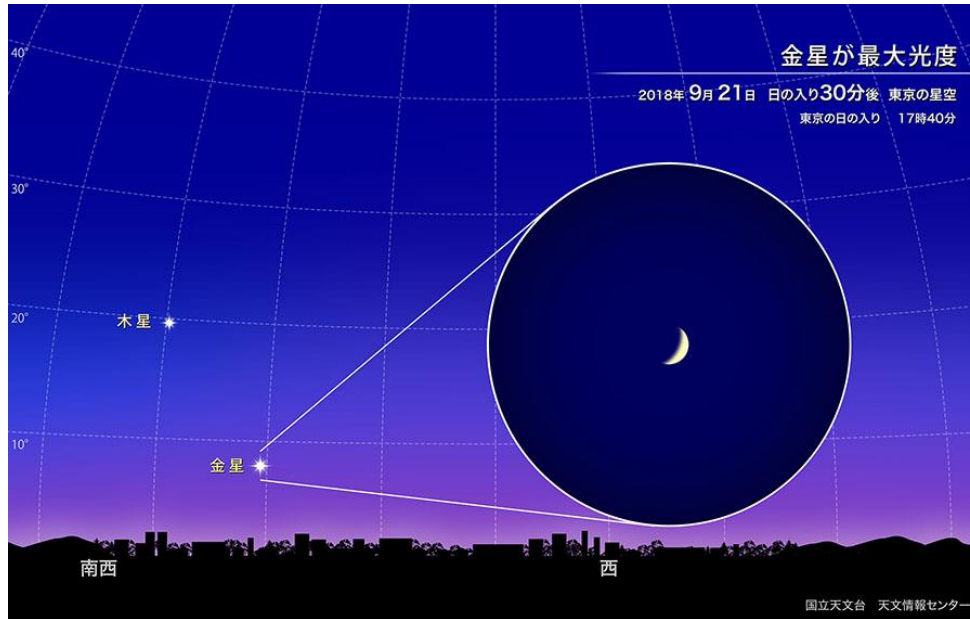
体の表面にクレーターができる時に拡ひろがった噴出物ふんしゅつぶつ

が、放射状ほうしゃじょうの明るい筋すじとなったものです。

月の表側にある多くのクレーター中で、目立つ光条を

持つものとしてはアリスタルコス、コペルニクス、ケ

プラー、プロクルス、そしてティコが^あ挙げられます。
金星が最大光度



日の入り後、夕焼けの残る西の低空には金星が明るく輝いています。この金星が、9月21日に最大光度を迎えます。最大光度のころの金星の明るさはマイナス4.6等で、望遠鏡で観察すると三日月のように欠けて見えます。

かんさつけっか 観察結果

望遠鏡を自分で^{うご}動かせましたか

月の光条は見えましたか

金星は見えましたか

木星の^{しまもよう}縞模様は見えましたか

木星の四つの^{えいせい}衛星は見えましたか

土星の環は見えましたか

メモ